レッスン：14"A"

テーマ：絶対の現れとしてのマインド

ABSM14.EN/DOC

私の兄弟・姉妹たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に神、絶対、神の聖性の中で抱かれています。

　　私たちは一般に、マインドという言葉を２つの主な概念として使用しています。一つは個人がある特別な知識をマスターすることによって放つ知性としてのマインドであり、もう一つの概念は肉体の脳としてマインドです。

　　このレッスンではマインドをそれらとは別の内容として検討していきます。それによって、全く異なった角度からマインドの概念を理解することができます。このマインドについての省察、説明を理解しようとする時には、あたかも初めてマインドという言葉を聞くかのごとく「オープンマインド」な態度でもって望む必要があります。それを受け入れるか、あるいは拒否するか急いで結論を出さないようにしてください。心をオープンで自由な状態にして、これまでのあなたの知識の範囲内に縛られることのないようにします。

　　これまで、私たちが時間・空間内の意識から理解した内容に基づいて、および他の意識状態に同調することにより体験的に理解した、より実体的な知識を持つ人々の助けに基づいて、絶対存在について述べてきました。

　　前のレッスンでは、絶対存在の主な特徴と本質はそのアウタルキー、多重性、それ自身の中にそれ自身またはブレーシス（＊全肯定的な神の意志）を表現するという性質であると述べました。それ自身の中にそれ自身を表現することを、私たちはエバレスキアの状態と呼んでいます。神のエバレスキアを神の自己表現と言うこともでき、それ自身に対する絶対存在の愛と崇敬を意味し、またそれ自身の中におけるそれ自身の現れを意味します。

神のエバレスキアがそれ自身を顕現するために、絶対存在はマインドを創造したのです。マインドはスーパーサブスタンスであり、波動の無限の海原であり、それによって創造の全領域、あらゆる世界が築かれています。すべてはマインドであり、マインドによってマインドの様々な波動が生じています。

　　マインドは聖なるものですが、神ではありません。それは構造・体系であり、それは大海原であり、その中であらゆるものは形を帯びて生きているのです。

宇宙における微小な動きですら汎宇宙的な記憶、マインドの海に記録されます。

マインドにはAnesperon Light（＊アネスペロンの光。Anesperonはギリシャ語と思われ、英辞書にはありません）、原初の火、エーテル、スーパーサブスタンス、サブスタンス、超物質、さらには物質など様々な状態、呼び方がありますが、それらは全てマインドの波動と密度の違いによるものです。正確な記録が行なわれるためには、マインドにはある種の意識があると考えざるをえません。

　　このように、私たちは様々な波動のマインドと出会います。波動の違いによって様々な世界が築かれ、それぞれの波動のマインドは、その波動に対応する世界を築く手段となるのです。それらの波動はエネルギー、パワーを供給し、それによって諸宇宙とそれらの宇宙の中にLifeの現象として存在する全てのものがエネルギーを得ることができるのです。私たちはそのエネルギーをエーテル・バイタリティー（エーテル活力）と呼んでいます。

　　それは天国における日々の糧なのです。「天にまします我らが父よ。私たちに日々の糧をお与えください…」（＊聖書の中の言葉）

Page2

 マインドは絶対存在ではありません。マインドは、非顕現の絶対がそれ自身を顕現させる手段なのです。絶対存在には絶対英知、絶対パワー、絶対善という特徴があります。これらの属性は絶対存在の両手、つまりキリストロゴスと聖霊として現れています。このようにしてキリストロゴスと聖霊は、マインドを使用して神のエバレスキアの状態の中で顕現するための現れの状態を提供することができるのです。

　　マインドを通じて、現れおよび現象が生じ、それらは異なった様々な波動を通じて投射されます。それらの波動のレベルに応じて、特定のセルフ・エピグノーシスからの現れの質が生じます。

　　ロゴスは絶対存在の部分であり、セルフ・エピグノーシスの質に、人間のイデアを通じて認識されるという能力を与えます。実際、それは人間に与えられた能力であり、それによって人間は、何か他の「私」（"I"ness)とは異なった存在として「私は私である」(I am I)と言うことができる意識状態に達する能力が付与されているのです。このような能力としての質がなければ、人間が進化して自己実現に到達することは不可能です。

　　人間にはダブル・エーテリック（＊各体に伴うエーテル体）を伴った３つの体があり、各ダブル・エーテリックはそれに対応する体が築かれる型なのです。これらのエーテル体が現われているその質としての状態によって、人間の現在のパーソナリティーの３つの体、つまり肉体、サイキカル体、ノエティカル体の健康状態が左右されます。

　　聖霊あるいはHolyspiritualとしての状態は、絶対存在の重要な部分で、それによって創造それ自体が可能となるのです。私たちは簡単に、創造界における機能と役割という観点からこれらの２つの状態を区別します。実際には、Lifeの現象において両者の様々な機能を識別することができても、ロゴス的現れと聖霊的現れは同時に働いているのです。私たちは絶対存在に関して、創造界における人間および動物の現象を通じて研究可能な、非常に僅かな現れについて述べていることを心に留めておかねばなりません。明らかに、生きた組織体として、現在のパーソナリティーの体として、私たち人間はLifeの現象であり、聖霊的なLifeの現象なのです。

人間の肉体は聖霊によって築かれていますが、私たち人間の"I"ness、または"I am I"は、それが未発達の意識状態であれ、意識的または超意識的状態であれ、ロゴス的なリアリティーなのです。

　　私たち人間はロゴスの質を持っています。なぜなら、**人間は私たちがマインドと呼ぶスーパーサブスタンスを使用するパワーを有するのみならず、そのスーパーサブスタンスを用いて想念、感情、像(idol)を形作る能力があるからです。**

　　“聖なるモナドのSpirit Being（スピリット存在）セルフ”からのスパークとしての私たちの本質はLifeそれ自体であり、私たちが自分自身を神の聖なるセルフの中に放出する時、私たちはLifeそれ自体なのです。私たちは自分たちの外部のどこかからバイタリティー（活力）を得たり、外部のものによって活気づけられたりするのではありません。

　絶対存在の聖霊的なダイナミックな表現は、スーパーサブスタンスとしてのマインドを使って諸宇宙を築きます。それはまた、マインドをエーテル活力として用いて、原型、イデア、法則、原因から様々な創造の諸世界を形成し実体化します。諸宇宙はこのスパーサブスタンスであるマインドから築かれているのですが、このマインドには自己充足的なLifeがあり、それ故に絶対善、絶対パワー、絶対英知が付与されています。

Page3

　　アークエンジェルのグループはこのスーパーサブスタンスとしてのマインドを使って、様々な世界を築きます。その場合、それぞれの世界に適切である波動のマインドを用います。

　　これらの世界は７つのヘブン（＊天国）に分けられ、それらのヘブンはマインドのそれぞれの波動によって決定されます。特定の現れが様々な創造の諸世界に下降して自らを表現するためには、最初に高次ノエティックおよびノエティック界からの元型、イデア、法則、原因を通って来る必要があります。これらの世界は４つのヘブンであり、それらの諸世界は完全な現れ、存在（Beingness)と全体の諸世界、ステートの諸世界、リアリティーの諸世界であり、そこでは魂のセルフ・エピグノーシスが表現されています。

　　これらの諸世界は体験の世界ではなく、制限やニーズ（必要性）のある諸世界ではありません。それらはスーパーサブスタンスの世界です。

それより下位の３つの世界は形の世界であり、それらは制限、ニーズ（必要性）、イリュージョンのある諸世界です。物質界は私たちが今住んで親しんでいる世界であり、３次元の世界です。

サイキカル界は超物質の波動によって築かれている世界で、４次元の世界です。このサイキカル界は７つの階層に分けられ、それぞれがさらに７つのサブ階層（下位階層）に分けられており、各サブ階層の波動の密度は異なっています。

　　ノエティカル界はサブスタンスの波動で築かれており、5次元の世界です。ノエティカル界もまた7つの階層に分かれており、それら7つの階層がさらに７つのサブ階層に分かれ、それら各サブ階層の密度はそれぞれ異なっています。

　聖霊はアークエンジェル達（＊大天使という訳語もありますが、宇宙における基本的な自然法則を司る働きをする）を通じてこれら様々な世界を創造し、維持しています。

アークエンジェル達は動物界、植物界を創造し、維持し、同時に私たち人間の肉体をも築き、維持しています。

　丁度私たちの肉体が様々な器官から成り立っている生きたリアリティーであるのと同様に、マインドも生きています。人間の体がノエティカル体、サイキカル体、肉体という3つの体から構成されているように、諸宇宙も対応する３つの体を有する生きた実体です。

　　無限空間の中に物質的宇宙が誕生する前に、それに対応するサイキカルおよびノエティカル宇宙ができている必要があります。

絶対パワー・絶対英知・絶対善を通じて、キリストロゴスと聖霊はマインドによってイデアという原初の世界を投射します。

その結果、まずノエティカル宇宙が築かれます。（もし私たちが時間という観念を用いるならば）永劫の時間が経過した後に、ノエティカル宇宙に対応するサイキカル宇宙がそれ自身を現し始めます。同じように永劫の時が過ぎた後、サイキカル宇宙に対応する物質宇宙が現れ始めます。神の聖なるエバレスキアの中におけるこのようなプロセスは、継続して生じており、現在も常に継続しており、未来においても決してそのプロセスが停止することはありません。

　　汎宇宙的な夜というものは決してありません。なぜなら、絶対存在は永遠に黙想し、創造を続けるからです。諸宇宙の発生・成熟・分解というプロセスが存在しない時はありません。同様に、この創造界において、人間が誕生・死という現象のサイクルを経ないということはないのです。特定のイデアのサイクルが完了して別のタイプのサイクルをスタートする可能性が与えられるまで、これらのサイクルは絶えず継続するのです。絶対存在は永遠に黙想し、創造します。生きている諸宇宙は様々な形のロゴスで満ちていて、それらのロゴスが様々なレベルの意識と気づきを表現しています。

　　絶対存在の中には運動と波動があると述べました。マインドとその様々な波動によって初めて、現れに向かう運動、波動、そして振動があるのです。なぜなら、この運動は創造界の中で特定の現れを活性化させるからです。

　Page4

　　 Lifeの現象の中には大小のロゴスがあり、神の聖なる計画の中で特定の目的のために働いています。各アークエンジェルとその組織は、成就すべき目的に応じて特定のエピグノーシスを現しています。人類もロゴスです。量的に見れば僅かですが、質的には同じです。丁度、海の水もコップ一杯の水も量に違いはあっても、水であることに変りはないのと同じです。違いは量だけです。

　　スーパーサブスタンスとしてのマインドは、築くことと設計の両方に使用されます。Lifeの現象において、その基盤と現れにマインドを使用しないものは何ひとつありません。

　　神のエバレスキアとアウタルキーの中におけるこの運動は絶えず生じています。なぜなら、絶対存在が黙想を停止することはないからです。

　　私たちは諸体として、そして現在のパーソナリティーとして生きています。私たちの3つの体、つまり肉体、サイキカル体、ノエティカル体は創造され、生きて活動しています。

**これらは現在のパーソナリティーの世界、サブスタンス、超物質、物質の波動におけるLifeの現象の世界です。しかし、魂のセルフ・エピグノーシスとして、聖なるモナドとしても、私たちは存在しています。私たちはLifeそれ自身なのです。Lifeは絶対存在です。それは絶対リアリティーであり、真理です。**

　　将来、このスーパーサブスタンスであるマインドの様々な状態についてさらに深く見てゆき、学ぶことになります。築く役割と構造という２つの働きをするマインドの質について学ぶようになります。人間がマインドをどのように用いているかを学びます。人間は想念・思考という様々なレベルの波動を通じて、様々な世界で自分自身を表現しています。さらに像（＊イメージ）を表現し、自分自身の様々な世界を形成し、自分自身の天国と地獄を築いているのです。

　　マインドを使用してエレメンタルと呼ばれるものを築くことについても学びますが、それは究極的には思考および行動の仕方としての、特定のパーソナリティーの想念的欲望と欲望的想念の表現以外の何ものでもありません。

私たちは常に神、絶対、神の聖性によって包まれています。

EREVNA/SERIES A/EN/ABSMI4A.EN/DOC